proofpoint

ソリューション概要

Proofpoint Human Risk Explorer

人的リスクに関する実用的な知見で
セキュリティチームを強化

主なメリット

- ユーザー、部門、組織単位で人的リスクを容易に特定し、追跡
- 詳細な知見を確認し、リスクレベルが変化する理由を把握
- 統合された推奨事項により推測を減らし、人的リスクの迅速な低減を実現
- オートメーションにより低減措置を広範囲に適用し、リスクに迅速かつ適時に対応

96%

承知の上でリスクのある行動を取った従業員の割合[1]

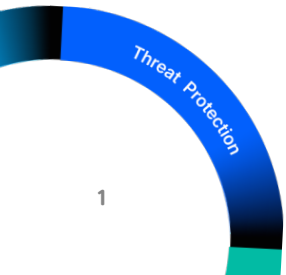
出典：プルーフポイント

セキュリティ インシデントは、必ずしも外部脅威だけが原因ではなく、内部リスクから発生することもしばしばあります。これには、従業員による機密データの扱い方やセキュリティに対する理解度、セキュリティ ポリシーへの取り組み状況が関係しています。Proofpoint 2024 State of the Phishレポートによると、従業員の96%が承知の上でリスクのある行動を取っています。この統計は、攻撃者だけがリスクなのではなく、従業員の判断や行動も大きなリスク要因であることを示しています。

従来のリスク特定方法はサイロ化されており、複数のデータセットを手作業で分析しなければなりません。対照的に、Proofpoint Human Risk Explorerでは、複数のリスク信号を自動的に関連付けることができます。これにより人の行動によって引き起こされるリスクを定量化、追跡、低減を行うための包括的な手段を得られます。セキュリティチームは、誰がリスクにさらされているのか、どの種類の機密データが流出リスクにあるのか、従業員がリスクのある行動を取る可能性について把握できます。詳細なインサイトを得ることで、組織は受け身のセキュリティからプロアクティブなリスク管理へと移行することができます。

人的リスクを完全に可視化

Human Risk Explorerは、Proofpoint Prime Threat Protection、DLP Transform、DLP Transform Advancedといった、プルーフポイントのソリューションに自動的に組み込まれています。また、Proofpoint Core Email Protection、ZenGuide、Insider Threat Management にも搭載されています。Human Risk Explorerは、メール保護、内部脅威管理、アイデンティティ脅威防御、オムニチャネルのエンタープライズ データ保護、アカウント乗っ取り保護、ユーザー教育などのプルーフポイントの各ソリューション領域にまたがる人的リスクのシグナルを関連付けます。幅広いエリアをカバーしているため、組織、部門、個人単位で、インテリジェンスに基づく包括的なリスクスコアを算出できます。時間の経過と共にリスクスコアを追跡し、継続的に同業他社と比較することができます。



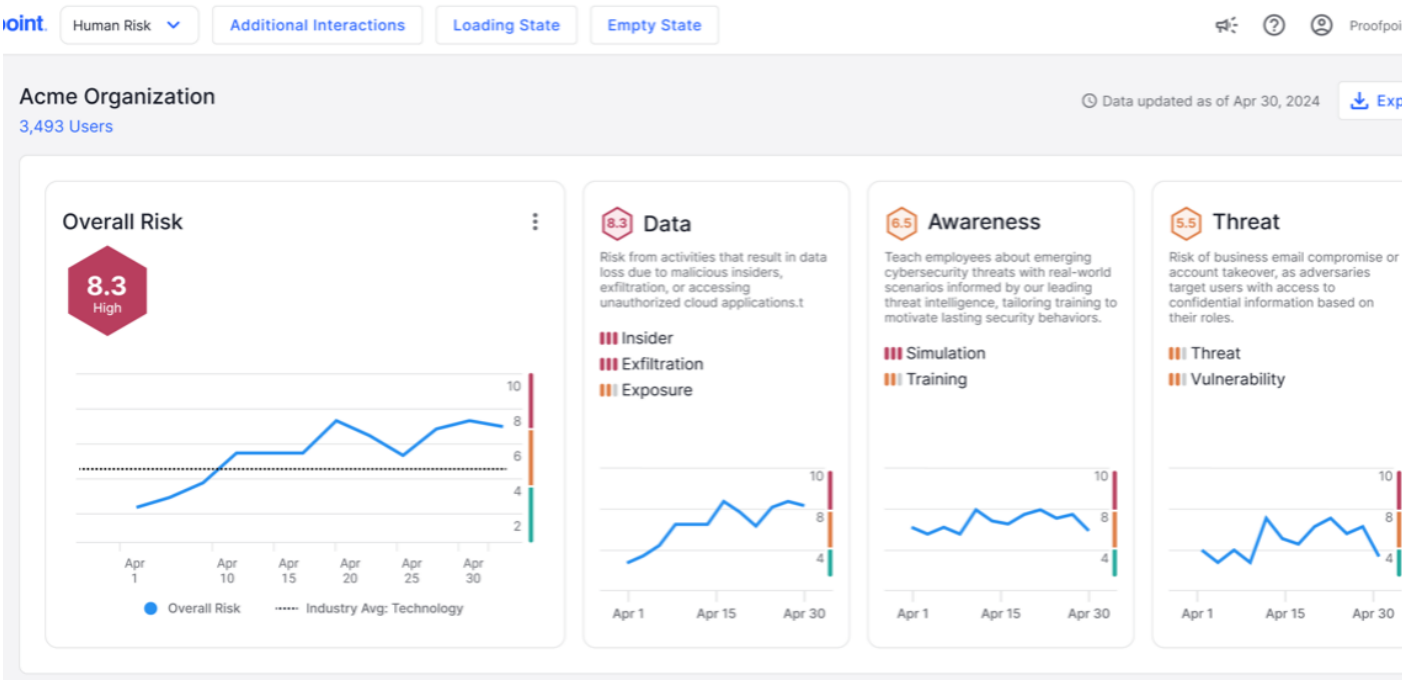


図1：組織の全体的なリスクを瞬時に、かつ包括的に表示する、Human Risk Explorer概要ページ

明確なリスクカテゴリ

- データ
- 意識
- 脅威

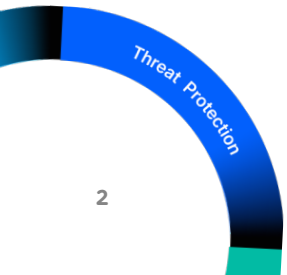
Human Risk Explorerは、リスクを「データ」、「意識」、「脅威」という3つのカテゴリに分類し、リスクがどこに集中しているのか、なぜ変化しているのかを把握できるようにします。これらのカテゴリは、流出リスクのある機密データの種類、従業員が自らのリスク行動の影響を理解しているかどうか、そして誰が最もリスクにさらされているのかを示します。これらのカテゴリは互いにつながっており、すべて人の行動に起因するものです。適切に対処しなければ、組織に侵害リスクをもたらす可能性があります。各カテゴリの意味は以下のとおりです。

データ — セキュリティとはただ攻撃を阻止するだけではなく、貴重な資産を守ることでもあります。データリスクは、従業員が機密データをどのように扱っているかを評価します。これには、不正なデータ転送、過度なアクセス、ポリシー違反などが含まれます。この分析により、侵害が発生する前にリスクを低減することができます。

意識 — 多くのセキュリティ インシデントは、ヒューマンエラーや、不十分なセキュリティ意識やセキュリティ ハイジーンの欠如に起因します。意識リスクは、トレーニングへの取り組み、フィッシング シミュレーションの結果、セキュリティ ベストプラクティスの遵守を評価します。従業員が組織をリスクにさらすような、セキュリティ上のミスを犯す可能性を測定します。

脅威 — このカテゴリは、攻撃者によって頻繁に標的にされる、Very Attacked People™ (VAP)などの個人を特定します。こうした個人が攻撃の被害にあう可能性を評価します。また、脅威リスクや攻撃試行と、セキュリティ ギャップとの相関を評価します。

Human Risk Explorerは、これら3つの要素を組み合わせることで、包括的なリスク評価を行います。リスクにどの程度さらされているかを把握し、セキュリティ侵害を回避するために、的を絞ったプロアクティブな対策を講じることができます。



変化するリスクを詳細に理解する

Human Risk Explorerは、個人単位から組織全体まで、リスクに関する詳細な知見を提供します。例えば、従業員がフィッシングリンクをクリックするという単独のリスクイベント自体は、それほど高いリスクスコアにはなりません。しかし、この人に特権アクセスがあり、大量の機密データを保持していれば、Human Risk Explorerは、これらの要素を組み合わせて、より重大なリスクとして評価し、セキュリティチームに調査を促します。このような知見により、リスクのある行動パターンを特定し、セキュリティ意識が従業員の判断にもたらす影響の理解、介入が最も必要とされる領域を明確にできます。リアルタイムの分析により、組織は低減戦略を微調整し、人的リスクの変化に応じてプロアクティブにセキュリティ制御を見直すことができます。

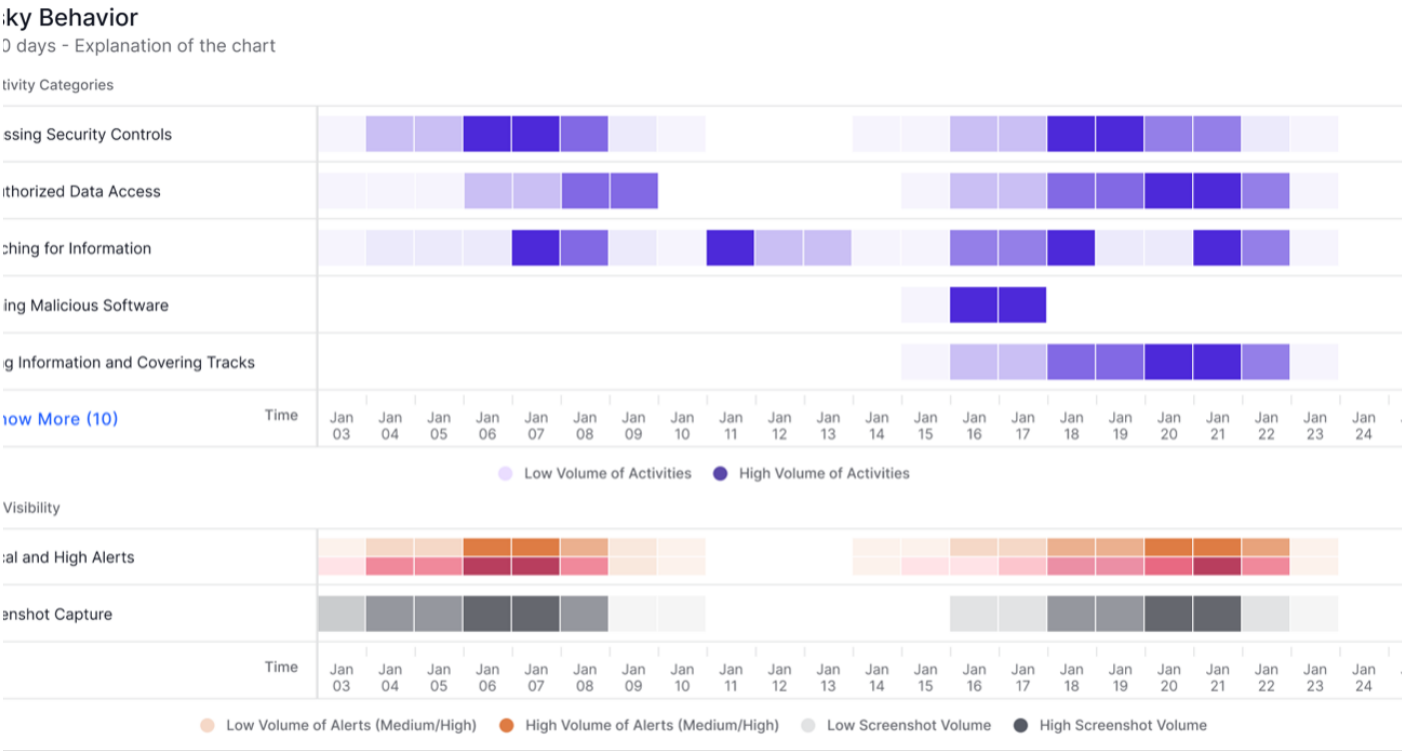


図2： Human Risk Explorerにより、セキュリティチームは、組織をリスクにさらす可能性のある行動を特定できます。

リスク低減に向けたプロアクティブな推奨事項

Human Risk Explorerは、データに基づく推奨事項を自動的に提示するため、セキュリティチームは手作業による分析や介入に頼る必要がなくなります。各推奨事項は、リスク低減のために適用できるプルーフポイントのセキュリティ制御を提示します。また、提案の根拠を示すと共に、これによって組織のセキュリティポスチャがどのように改善されるかを説明します。ダッシュボードはセキュリティ上のギャップを示し、リスクの可視性や制御を強化するために導入できるプルーフポイントの製品やポリシーを提案します。これらの推奨事項を自動化することで、セキュリティ ワークフローを効率化し、セキュリティチームの負担を抑えることができます。

簡単かつ効果的なリスク低減

- 人的リスクに基づいた制御
- 拡張性に優れたリスク管理

シームレスな統合で容易かつ効果的にリスクを低減

Human Risk Explorerは、プルーフポイントのHuman-Centric Securityプラットフォームの他のコンポーネントと密接に連携します。これにより、組織はリスクの可視化と推奨事項だけでなく、それに基づいて行動するためのツールも手に入ります。

プルーフポイントは、タスクの自動化やセキュリティポリシーの適用を通じて、適時の介入を可能とし、容易かつ効果的にリスクを低減します。主な利点として以下のものがあります。

人的リスクベースの制御 — 従業員のリスクスコアが重大なしきい値に達した場合、制御を自動的に適用できます。これには、情報漏えい対策（DLP）ポリシー、内部脅威またはアカウント侵害に対する監視の強化、的を絞ったセキュリティ トレーニングなどがあります。こうした自動化されたアクションにより、管理者による手動対応の負荷が軽減されます。

拡張性に優れたリスク管理 — オートメーションにより、セキュリティチームの負担を減らします。これにより、追加リソースなしで、効果的にリスク低減を拡大できます。

プルーフポイントは、インテリジェンス、オートメーション、ポリシー適用を組み合わせることで、組織が確実に人的リスクをプロアクティブに管理できるようサポートします。脅威が重大な侵害に発展する前に対応できます。

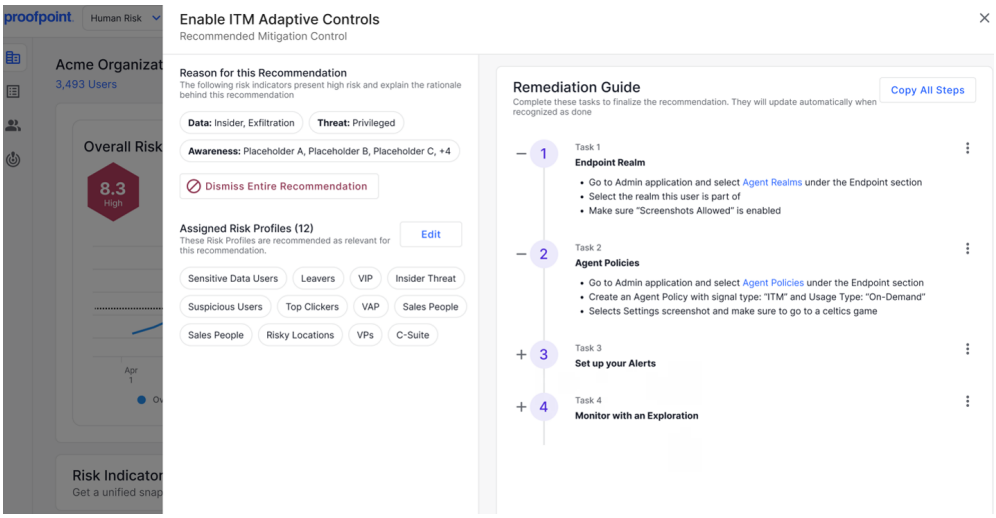
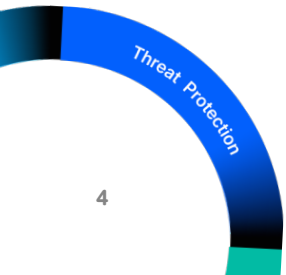


図3： Remediation Guideで低減の推奨事項を簡単に採用できます。推奨事項を取り入れるために使用できるプルーフポイントの製品を、詳細な手順と共に提示します。



継続的な監視と戦略的なセキュリティの最適化

セキュリティ脅威や人の行動は時間とともに変化するため、継続的なリスク評価が不可欠です。Human Risk Explorerは、組織全体のリスク動向を追跡します。セキュリティチームは、低減措置の効果を監視し、リアルタイムの知見を用いてアプローチをさらに洗練させることができます。この継続的な監視により、セキュリティ戦略を組織のビジネス目標と常に連携させることができます。責任者は、最も効果的なセキュリティ対策にリソースを集中させることができます。

Proofpoint Human Risk Explorer によって、組織は人的リスクの定量化、追跡、低減を実現できます。ぜひお問い合わせください。

詳細は、https://www.proofpoint.com/us/products/human-risk-explorer をご確認ください。

proofpoint.

Proofpoint, Inc.は、サイバーセキュリティのグローバル リーディング カンパニーです。組織の最大の資産でもあり、同時に最大のリスクともなりえる「人」を守ることに焦点をあてています。プルーフポイントは、クラウドベースの統合ソリューションによって、世界中の企業が標的型攻撃などのサイバー攻撃からデータを守り、そしてそれぞれのユーザーがサイバー攻撃に対してさらに強力な対処能力を持てるよう支援しています。また、Fortune 100 の 85% の企業などさまざまな規模の企業が、プルーフポイントのソリューションを利用しており、メールやクラウド、ソーシャルメディア、Web関連のセキュリティのリスクおよびコンプライアンスのリスクを低減するよう支援しています。詳細は www.proofpoint.com/jp にてご確認ください。

プルーフポイントとつながる：LinkedIn

プルーフポイント プラットフォームの詳細はこちら →